

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.55

2024.1

Contents

同窓会会長挨拶・同窓会役員…	2
校長挨拶	3
活躍する卒業生	4
同窓会だより	5～7
母校だより	8～9
活躍する部活動	10
会計報告	11
進学・就職実績	12
事務局だより	12



同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同窓会の皆様、如何お過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

皆様には日頃より勝山高校並びに勝山高校同窓会に温かいご支援、ご協力を賜り有難うございます。紙面をお借りし心から御礼申し上げます。

さてコロナ感染症も2類から5類に移行し、4年振りに以前のような日常生活が戻ってきつつあります。同窓会の行事も、令和5年度は8月の本部総会後の懇親会が普通科43期生、商業科28期生を当番幹事に、4年振りに開催することが出来ました。丸3年の空白があり、どうなることかと心配しておりましたが当番幹事の皆様の大変なご努力により、伝統を受け継いだ賑やかな、楽しい懇親会が出来ました。改めて当番幹事の皆様に感謝申し上げます。

5月の関西支部総会、6月の湯原支部総会、同じく6月の東京支部の総会もそれぞれ4年振りに以前のスタイルで開催され、地元より出席させて頂きました。やはり大勢の皆様と直接お会いし、懇談させて頂くのは格別です。

まだ一度も支部総会を開催していない所が多いわけですが、ぜひ開催をご検討頂ければと存じます。

これから勝山高校の前途も益々厳しくなると思われます。地元の同窓生が団結して応援していくことが不可欠ですが、支部の会合を開くことで改めて母校への思い、愛着を深めて頂く機会になることと存じます。

また、令和4年から募集を停止したビジネス科が令和6年3月、最後の生徒を送り出すこととなります。昭和37年に新設、平成23年にビジネス科に改称され61年の時を刻んできましたが、その歴史に幕を降ろすことになりました。地元を始め各地に数多くの優秀な人材を輩出してきたビジネス科が無くなることは本当に寂しい限りです。卒業生の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。当然のことですが、科が無くなっても勝山高校同窓会会員であることには変わりません。引き続き同窓会のご支援も宜しくお願い致します。

令和6年4月からは普通科一本の地域進学拠点校として再出発をするわけですが、少子化と進路の選択肢が益々多様化する中、勝山高校が存続するためには更に思い切った改革が必要になろうかと存じます。

幸い真庭市にも全面的な支援を約束して頂いております。これから120周年、130周年へと向かって存続・発展するため学校、同窓会一丸となって必要なことをしっかり実行していきたいと思えます。

結びに同窓会の皆様益々のご健勝ご活躍、勝山高校の隆盛を祈念しご挨拶といたします。

令和6年度 本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、平成5年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしくお願い致します。

日時 令和6年8月11日（日）10時

場所 勝山高校同窓会館

懇親会 12時より **会場** 勝山文化センター

同窓会役員

役名	氏名	卒期
顧問	近藤 正美	中19
会長	山下 豊	高20
副会長	松浦 征護	高14
副会長	太田 詳子	高17
副会長	三船 昌行	高17
副会長	岡田 健	高21
副会長	宮島 敦子	高27
副会長 校長	池田 浩規	高34
監事	長尾 卓洋	高29
監事	綱島 直彦	高30

役名	氏名	卒期
会計 事務長	平岡 明子	
東京支部長	井上 光一	高33
岡山支部長	内山 満義	高22
関西支部長	水島 隆	高28
津山支部長	二木 浩	高32
鳥取支部長	山藤 輝彦	高3
島根支部長		
川上支部長	徳山 周一	高25
落合支部長	道満 祥雄	高19
勝山支部長	森本 昭夫	高21

役名	氏名	卒期
大佐支部長	森部 康英	高27
中和支部長	由井 堅史	高30
美甘支部長	戸田 典宏	高36
新庄支部長	坂本 茂樹	高27
八束支部長	小谷 仁志	高30
久世支部長	石村 修	高30
月田支部長	植田 浩史	高27
富原支部長	米山 孝	高27
湯原支部長	横辺 由江	高34
北房支部長	畦田 恵子	高23



校 長

池田 浩規

発刊によせて

全国2万人を超える同窓生の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

事務局のご尽力によって今年も同窓会報の発行に至りました。関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

昭和37年、地域の強い要望と岡山県下財界からの強い要望があり、本校に商業科が設置されました。当初は定員150名での開科であったようです。

以来、昭和・平成・令和と61年の長きにわたり、本校商業科の卒業生は、日本の高度経済成長を支え、地域の産業と経済の担い手として尽力して参りました。平成23年にビジネス科と名称変更をしましたが、今日まで4,700名を超える卒業生が日本各地で活躍されています。

伝統ある勝山高等学校商業科も、少子化の進行と専門教育の変化により令和4年4月をもって募集停止となり、来年2月29日（木）をもって閉科となります。様々な想いが去来し、寂しい気持ちでいっぱいですが、多くの皆様と心をつなげてその功績を称え、閉科を見届けたいと思います。

ビジネス科の閉科をもって、勝山高等学校は普通科単科の高等学校として生まれ変わります。様々な環境の変化があり、本校を取り巻く状況は平坦なものではありませんが、状況を好転させるべく教職員一同様々な取り組みを実践しています。現在の代表的な取り組みを次に列挙いたします。

- ・岡山大学教育学部と連携した教員養成プログラム
- ・株式会社まちと学びのイノベーション研究所と連携した「魁！鼓山塾」の開講
- ・「夢現プロジェクト」と呼ばれる探究活動
- ・本校で全国の高校に先駆けて導入し、参考にもされている「夢手帳」の活用
- ・観光と教育に係る和歌山大学との連携

これらの特徴ある取り組みを生かしながら、地域の有能な人材をしっかりと育て上級学校や社会に送り出し、これから厳しさを増す県北部の街々を循環発展させていかなければなりません。この強い決意をもって、教職員一同新たな勝山高等学校で人材育成に励んで参ります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、同窓生の皆様方のますますのご活躍を祈念しております。多忙でシステム化され変化の速度が激しい現代社会、ふと立ち止まり勝山高等学校時代のことを思い出して前に進んで下さればと願っております。



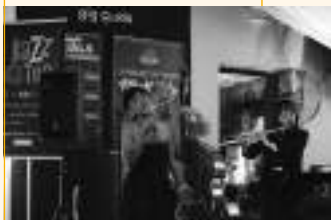
活躍する卒業生



Risa Kodani

小谷 梨紗

第52回(平成13年卒)
ジャズシンガー



「くちびるに歌を持って」これは私がいつも心に持っている言葉だ。勝高を卒業して23年。私は今オーストラリアに住んでいる。小さい時から、不満を言いたい時は歌を歌いなさい、と祖母に言われ育ち、蒜山の大地の中、毎日ピアノを弾き歌を歌った。歌を仕事にしたいと言う度、「勝高に行って、大学に入って、就職。」と母に言われたものだ。諦めていた音楽大学への進学。しかしどうしても諦められず、音楽の先生に相談し声楽学科を薦めてもらい、その日に歌の先生を探した。文化祭で有志バンドを組み熱唱したのも懐かしい。あの時もらった拍手喝采は今も思い出す。私は味を占めてしまったのだ！思い返してみても私の青春は音楽と共にあった。その後、大阪音大で声楽を学ぶ中でスタンダードジャズに出会い、「私が歌いたい音楽はこれだ！」とジャズに傾倒していった。ジャズと英語を必死に学んだ。卒業後すぐジャズシンガーとなり、働きながらジャ

ズクラブで歌い研鑽を積み、数年が経った頃、結婚を期にメルボルンに移住した。現在もジャズフェスティバルなどのイベントで英語と日本語でジャズを歌う。現地の人は日本語の持つ音の美しさを誉めてくれ、私自身も改めて日本語の奥深さに気付かされた。また子育てをする中、ファゴット奏者の望月理江さんと出会った。彼女の音楽教室で、日本の音楽、ジャズなど様々な音楽を使い、私が培ってきた“歌う事”と“弾く事”で子ども達の音楽の扉を開けたらと思っている。

歌は昔から私たちの日常に寄り添ってくれている。時に背中を押してくれ、励ましてくれる。高校時代もそうだったように、私は日々音楽に力をもらって生きている。こうして思い出に浸っていると日本に帰りたくなるが、私はここメルボルンで音楽、仕事、家事、育児の忙しい日々を過ごしていくのだ。くちびるに歌を持って。

高校卒業から何年経ったでしょうか？

今年の夏はコロナも明け3年ぶりに開催された本部総会、懇親会の当番幹事ということで同級生から連絡があり何歳なのか改めて思い出すことが出来ました。が、月日の経つのは本当に早いものです。

脳みそは多分小学生のままなのですが、容姿は年相応に変化していることでしょう。

当番幹事という大役でございましたが、同級生のパワーが凄いこと凄いの。年齢を感じさせないフットワークの軽さ。彼らすべてのメンバーがいなければこの大成功は無かったと思います。本当にありがとう。

高校時代は普通科、商業科があり、私は商業科に通学していました。学生時代は勉学に明け暮れていました！と言いたいところなのですが、周りからご指摘を受けそうなので本当の事を言うのはやめておきます。

部活動は硬式野球に所属していました。仲間にも恵まれ3年夏の大会では思い出に残る結果が残せたと思っています。

卒業後は社会人野球(当時：NTT中国)の世界に進むことが出来ました。10年間在籍し都市対抗野球、日本選手権等に出場しました。アトランタ五輪の候補合宿にも参加させてもらったのも良い思い出です。

引退後は新たな夢を求めて東京へ進出。大きな夢や希望をもって上京しましたが、世の中

そんなに甘くない。肌身をもって痛感しました。良いことも辛いことも沢山ありましたが、この経験こそが今日の自分の源になっています。人生本当に無駄なことは無いと思います。(詳しく書きたいですがここでは止めておきます。)

高校時代の野球部のキャプテンが試合後TVのインタビューで言いました。「僕たちは前に前に進む！」

この言葉が色々と後を押してくれているのかもしれない。そんな彼は今は遠くに行っています。

失敗しても良いのです。その後をどうするか？どう修正するか？そう信じてこれからも前に前に進んでいこうと思っています。新たな夢も出来ました。勝山高校野球部の大先輩に元プロ野球選手で石井さん、山根さんが居られます。私も偉大な先輩に続きたかったのですが、その夢は未来ある子供たちに託して、その子供たちの環境作り、指導に携わりながら地域貢献していきたいです。それに向かって只今準備中です。乞うご期待ください。

この文章を書きながら、同級生、仲間、家族、人との繋がり大切さを改めて感じています。

便利な時代で有難いですが、希薄になりつつある現代。もう少しアナログでもよいのかな？

感謝の心を忘れず、ありがとうの精神で、前に前に進んで行きます！お付き合いありがとうございました。



ハロー植田さんと

Manabu Isoda

磯田 学

第43回(平成4年卒)
鉄板焼「幸楽」



鈴木(山根)政明さんと清水(山根)和夫さん

同窓会だより

同窓会総会を終えて

山下 昭郎 高43回 (平成4年卒) 普通科代表

令和4年の春過ぎだったと思います。過去一緒に同窓会の実行委員をした戸田愛さんから連絡が入ったのは。要件は勝山高校の卒業生で50歳を迎える学年が、毎年8月に行なわれる同窓会総会と懇親会の準備をすることになっているので、代表幹事をして欲しいとの連絡でした。

以前、50歳の年に同窓会を開催することは聞いたことがあった程度で、まさか連絡が入るとは思っていなかったこともあり、当初は拒んだのですが、過去の同窓会で協力してくれた仲間からの願いということもあって、親友でもある商業科に在籍していた前田浩志くんを道連れにして引き受けることにしました。

令和4年はまだコロナ禍で、総会だけとの連絡を受けておりましたが、私自身、総会直前の8月5日に罹患してしまい、その2日後に開催された総会はやむを得ず欠席、前田君一人、右も左も判らずの参加で、悪いことをしてしまったと、ほんの少しだけ気に病みました。

総会に参加しなかったことや懇親会も開催されなかったこともあって、我々の総会、懇親会開催にはとても苦勞が付き纏いました。幹事を引き受けてくれた仲間も懇親会の素晴らしい伝統を聞いており、一筋縄では了承を得ることは叶わず、総会や懇親会の流れも前田竜一先生から貰った1枚紙の資料だけが頼りの打合せでは内容がよく判らず、先輩を頼ってもコロナの影響で開催出来ていなかったことで資料らしい資料も情報もなく、仕出し等で頼ろうとしていた地元の鮮魚店は閉店してしまっていて本当にどうしたら良

いのか途方に暮れることばかりでした。

転機が訪れたのは3月。平成30年度卒業生で主管幹事をされた杉山一夫さんが自分たちの開催した時の総会や懇親会の資料、当時の映像一式を提供してくださり、それを幹事メンバーで確認した時からでした。

どんなことをしていたのか、どうしたら良いのかが判ると、仲間一人一人が自分たちで出来ることを考え、動き、一番懸念していたアトラクションもみるみると決まり、練習に打ち込む日々で、本番に向けて練度が上がり、当日は無事総会を終え、素晴らしい懇親会を開くことが出来ました。

最後になりましたが、参加してくれた同級生、恩師の先生方、ありがとうございます。また総会を開催するにあたりご指導、ご協力頂きました同窓会役員の皆様、事務局の先生方、そして当日の運営に協力頂きました赤松俊宏くん、芦田(旧:藤井)利子さん、岡田晶好くん、黒田茂樹くん、川崎由美さん、佐藤尚くん、樋口美雪さん、渡邊(旧:柴田)佳代子さん、本当にありがとうございます。また一緒になって苦楽を共にした磯田学くん、植田知典くん、金定礼恵さん、小林美光くん、古山直美さん、住田佳揚子さん、高井修治くん、竹内真由美さん、三宅幸子さん、最後に前田浩志くん、大変だったけど楽しい時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。



東京支部総会・懇親会報告

支部長 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

まだ完全に安心はできないものの、ようやくコロナ禍の制限から解放され、こちら関東地域も従来の生活と活気を取り戻したように思われます。

そして今年、3年ぶりの令和5年6月17日(土)に新宿のカフェラヴォアにて支部総会と懇親会をようやく開催することができました。当日は勝山より山下豊同窓会会長、母校から池田浩規学校長、佐田晃彦先生が遠路ご臨席くださいました。

最初にこの3年間に残念ながら亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしました。次に総会に先立ち、山下会長のご挨拶、池田校長の祝辞を賜りました。総会では令和4年度までの会計報告と役員の交代をお知らせいたしました。

引き続き、佐田先生から祝辞ならびに勝山高校の近況報告をいただき、大前様(昭和32年卒)の乾杯の音頭で懇親会がスタートいたしました。天候にも恵まれオープンカフェの清々しい空気を味わい、久々に集まれた喜びを感じながら、おいしい料理と飲みものとともにそれぞれの思い出や近況を語り合うことができました。最後は畑様(昭和45年卒)に締めのお言葉をいただき、来年の再開を約束して閉会となりました。



まだ参加人数は回復しませんでしたでしたが、初めて参加くださった方も数名いらっしゃり、来年はひとりでも多くの方に参加いただけるような会が開催できるよう準備をすすめたいと思っております。予定では令和6年6月15日(土)、場所は以前の開催場所でもある、新橋「とっとり・おかやま新橋2階イベントスペース」を考えておりますので、この会報を見られた方は是非とも万障お繰り合わせの上、ご参加いただけると嬉しいです。決まりましたら関東の方には令和6年4月頃に案内をお送りする予定です。

最後に東京支部ならびに皆様のご健康と益々のご繁栄を祈念申し上げます。

関西支部総会・懇親会報告

支部長 水島 隆 高28回(昭和52年卒)

令和5年5月21日、3年間の空白を経て、第64回勝高関西支部同窓会総会を新大阪ワシントンプラザホテルで開催しました。ご来賓として、山下同窓会会長、吉原副校長、佐田教諭、武内岡山県大阪事務所長、久富近畿おかやま会副会長にご臨席いただき、総勢39名で旧交を温めました。

総会では決算報告の他、役員改選が行われ、平成21年から支部長を務められた木村さんの勇退が発表されました。その後任として筆者(水島)が指名された他、副支部長に柏(旧姓:横山)さんと出口(旧姓:中島)さん、会計監事に菱川さんと大坂さん(企画委員兼務)、経理に長岡(旧姓:坂本)さん、広報に三輪(旧姓:森杉)さん、渉外に三好(旧姓:大坂)さん、書記に堀尾(旧姓:高見)さんがそれぞれ就任いたしました。その後の懇親会では、ご来賓挨拶、乾杯と進み、歓談の後ビンゴゲームで盛り上がり、校歌斉唱、集合写真撮影で締め括りました。恒例となっていた山本さんによる応援エールは、残念ながら今年もありませんでした。

残念ついでに述べますと、参加者がずいぶん減っています。遡れば昭和55年がピークで155名の参加がありましたが、その後減少傾向が続き、平成21年に90名とやや持ち直したものの、やはり大きく減ってきています。毎年500名程度に総会案内を発送してはいるものの、令和5年にあっては1割未満の出席率で、年2000円の会費納入も100名程となっています。コロナの影響も大きいですが、今後はこれらの改善も視野に入れて活動していきたいと思っています。

最後に筆者の経歴を簡単に紹介しますと、昭和52年に勝山高校を卒業し神戸大学理学部に進学、同院修了後神戸市役所(消防局)に奉職、消防署長等を歴任し平成31年3月に退官、現在は再任用吏員として同局で勤務しています。最近は囲碁と二輪を趣味としているところです。関西支部ともども宜しくお願いいたします。



湯原支部第10回総会・懇親会報告

副会長 三船 昌行 高17回(昭和41年卒)



第1回 平成22年5月油屋別館

湯原支部は令和5年6月に、記念すべき第10回目の総会・懇親会を開催しました。横辺由江支部長から、立ち上げ頃の事情について執筆依頼がありましたので、思い出して書きたいと思います。

私は平成21年度に支部長になり、何かできないものかと友人達に相談しました。「一度みんなで集まってみよう」という事になり、準備を始めました。平成22年1月、準備委員として当時定年退職したばかりの団塊の世代が10名程集まりました。まずは名簿作りです、勝山高校90周年記念名簿から湯原地区在住者を拾い出し、手作りの湯原支部名簿ができました。支部規約案・支部役員案・支部の誓い「同窓の光かがやいて」も練りました。役員案では三役・幹事・監査には主に準備委員があたり、大字単位に文書の配布連絡係として地区委員を設けました。地区委員には比較的若い世代になってもらいました。これらの準備委員会は5回程、高橋先輩の湯原温泉油屋別館で協議し、あとはミニ同窓会の流れでした。

第1回総会・懇親会を平成22年5月28日に設定し案内状を送付しました。出した案内状が336人、回答が225人、うち出席回答が64人でした。

当日は、油屋別館を会場として、記念撮影、校歌斉唱と続き、辻均一郎同窓会長にも挨拶を戴きました。会場の110畳大広間に60余人が一堂に会するのは壮観でした。宴は進み、部活動や学校行事、バス通学や寮生活、色々とお世話になった先輩や先生の話等々、話題は尽きませんでした。

あれから14年、新型コロナの影響で4年のブランクがありましたが、本年節目の第10回目を開催でき一同喜んでいます。また、湯原支部は女性活躍時代に即し、会長・事務局とも女性で運営にあたっています。

勝山高校に栄光あれ！ 湯原支部に栄光あれ！



第10回 令和5年6月花やしき



母校だより

第24回 鼓山祭

疾風怒濤の中、今年の鼓山祭は新たな一步を踏み出し、挑戦の連続となりました。

昨年までの9月同時開催から、一転して5月には体育の部、そして10月に文化の部へと変更され、鼓山祭は新しい風に吹き替わりました。この変革により、生徒たちは過去の枠に縛られず、挑戦の中で奇跡を紡ぎ出していきました。

体育の部では、限られた時間の中で人文字に挑む新しい試みがありました。その舞台裏には、何もかもがゼロからのスタートで、最初は戸惑いと挫折が渦巻いていました。しかし、その中で生まれる成長と喜びは計り知れず、未知の領域に挑む姿勢に心を打たれました。残念なことに、体育の部当日に突如としてインフルエンザが流行し、参加できない3年生がいました。最後の体育の部に参加できなかったことは彼らにとっても悔しい思い出となりました。しかし、その逆風を文化の部で跳ね返すべく、生徒会と共に3年生が参加できるイベントやパフォーマンスが多く生まれ、その結果、彼らが盛り上げ役として活躍する様子が見られました。彼らは最

後の鼓山祭を全うするために力を合わせ、思い出に残る瞬間を生み出しました。その熱気が、鼓山祭全体に新たなパワーを注入し、会場を一体感で包み込みました。

今年の鼓山祭を象徴するのは、「失敗することを計画に入れる勝高生がどこにいますか」というスローガンです。この言葉により、生徒たちに新たな視点を与え、どんな逆境にも立ち向かい、「今年は最高の鼓山祭だった」と自負できるまで全力で取り組むことの重要性を感じることができたのではないのでしょうか。何よりも嬉しいのは、生徒たちが自らのアイデンティティを大事にし、自分たちの手で文化の部・体育の部を盛り上げたことです。コロナ禍による制約が続いた中で、約4年ぶり、最後のビジネス科による模擬店や一般公開の復活。コロナ禍以前のような賑やかな雰囲気に戻り、生徒たちが笑顔で交流する姿も印象的でした。鼓山祭を通じて培われる経験や思い出は、生徒たちの一生に残る貴重なものとなることでしょう。今回の成功は、皆さんの協力と生徒たちの熱意に支えられたものであり、心から感謝しています。ありがとうございました。



2年次生修学旅行

6月13日（火）～16日（金）の3泊4日の日程で、2年次生は関東方面へ修学旅行に行ってきました。台風の接近により天候が心配でしたが、生徒の日頃の行いが良いせいか、天候が大きく崩れることはなく、全員で予定通りの行程を終えることができました。

初日の昼はクラスごとに分かれて月島でもんじゃ焼きを食べました。その後、企業見学を行い、夜には希望に応じて「劇団四季」「チームラボ」「お笑いライブ」の3コースに分かれて優雅な時間を過ごすことができました。2日目は各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行い、それぞれが貴重な体験をしながら、友人とともに楽しむことができました。3日目は東京ディズニーリゾートへ行きました。午後から雨が降り始めましたが、生徒は夢の国を夜まで満喫することができ、最終日は浅草で自由散策をして帰途に就きました。

今回の修学旅行は、新型コロナウイルスが5類に移行し、様々な制約が緩和された中での実施となり、たくさんの生徒の笑顔を見ることができました。現2年次生は、中学生の時から新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事が中止されたり、縮小されたりしていた学年でしたので、喜びもひとしおです。皆元気に過ごすことができ、思い出に残る修学旅行になりました。



昭和40年3月卒業生（普通科16期生・商業科1期生）の学校訪問



令和5年11月15日、昭和40年卒業生（普通科16期・商業科1期）が同窓会を企画され、母校を訪問されました。同窓生の皆様は喜寿を迎えられ、これまで5年毎に同窓会を行ってきましたが、この度で最後の同窓会となるようです。その中今年度で閉科となるビジネス科（商業科）の生徒との交流会が企画されました。同窓生の皆さんは校内を見学し、交流会では同窓生の当時の思い出話や、これから卒業する生徒に激励もいただきました。最後は山本一幸様による関西支部総会では恒例の応援エールと、全員での記念撮影。少しの時間でしたが一瞬だけ青春時代に戻った卒業生の皆さん。とても懐かしく、楽しく、元気に過ごされていたのが印象に残りました。



活躍する部活動

令和5年度部活動 主な成績

運動部

硬式野球部

- ・令和5年度春季岡山県高等学校野球大会 ベスト16
- ・第104回全国高校野球選手権岡山県大会 2回戦

卓球部

- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会卓球の部
男子第5位 女子優勝
- ・令和5年度岡山県高等学校秋季卓球大会
女子第10位
- ・令和5年度岡山県高等学校卓球新人大会学校対抗
女子第7位
- ・第51回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会
女子出場

陸上競技部

- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会
女子砲丸投 第2位 横山 桃華(3年)
女子砲丸投 第3位 池田 楓(3年)
- ・第62回岡山県高等学校総合体育大会 出場

ソフトテニス部

- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会
ソフトテニスの部 男子第3位
- ・令和5年度美作地区高等学校ソフトテニス選手権大会
男子2ペア出場
- 女子 矢鳴・小山ペア 準優勝
- 本田・小林由ペア 第3位
- ・岡山県高等学校新人ソフトテニス大会
(ダブルス) 美作地区予選会
- 男子 沼・竹井ペア ベスト16
- 女子 本田・小林由ペア 第3位

男子バレーボール部

- ・第77回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会美作支部予選会 4位
- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会
バレーボールの部 出場
- ・第62回岡山県高等学校総合体育大会 出場
- ・第24回TOB杯バレーボール大会 出場
- ・第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県予選会 出場

女子バレーボール部

- ・第77回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会美作支部予選会 2位
- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会
バレーボールの部 2位
- ・第77回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会 出場
- ・令和5年度全国高等学校総合体育大会岡山県予選会 出場
- ・第24回TOB杯バレーボール大会 2位
- ・第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県予選会 兼 令和5年度岡山県高等学校男女バレーボール選手権大会 出場

サッカー部

- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会サッカー競技 第3位
- ・第62回岡山県高等学校総合体育大会サッカー競技 県ベスト28
- ・令和5年度美作地区高等学校サッカー選手権大会 第3位
- ・第102回全国高等学校サッカー選手権大会岡山県大会 県ベスト28

女子バスケットボール部

- ・第78回国民体育大会バスケットボール競技岡山県選考会 出場
- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会バスケットボール競技 出場
- ・第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会岡山県予選会 県ベスト32

バドミントン部

- ・令和5年度岡山県高等学校バドミントン競技春季大会 出場
- ・第70回美作地区高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子団体戦 第2位
女子団体戦 第3位
男子個人戦 (ダブルス) 第2位 中村・青木ペア
女子個人戦 (ダブルス) 優勝 川上・高島ペア
- ・第62回岡山県高等学校総合体育大会バドミントン競技会
男子団体戦 出場
女子団体戦 出場
男子個人戦 (ダブルス) 出場
女子個人戦 (ダブルス) 出場
- ・第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会岡山県予選会 出場
- ・令和5年度岡山県高等学校バドミントン競技秋季大会美作地区予選会
男子団体戦 第2位
女子団体戦 第3位
男子個人戦 (ダブルス) 第2位 中村・青木ペア
女子個人戦 (ダブルス) 出場
- ・第52回全国高等学校選抜バドミントン大会中国地区予選会岡山県予選会
男子団体戦 ベスト16
女子団体戦 出場
男子個人戦 (ダブルス) 出場
女子個人戦 (ダブルス) 出場

水泳競技

- ・第51回岡山県高等学校水泳競技大会(児島地区公園水泳場)
中嶋 紀奈(2年)
女子50mバタフライ 第3位 (30.35)
森脇 聡太(1年)
男子200mバタフライ 第2位 (2:09.91)

第62回岡山県高等学校総合体育大会

- 中嶋 紀奈(2年)
女子100m自由形 第8位 (1:04.95)
女子200m自由形 第4位 (2:20.94)
- 串馬 葵(1年)
女子400m個人メドレー 第7位 (5:54.97)
女子100mバタフライ 第6位 (1:15.93)
- 森脇 聡太(1年)
男子100mバタフライ 第6位 (1:01.37)
男子200mバタフライ 第6位 (2:21.76)
- ・第71回中国高等学校選手権水泳競技大会
3名出場 中嶋 紀奈・串馬 葵・森脇 聡太
- ・第66回岡山県高等学校新人水泳競技大会
中嶋 紀奈(2年)
女子200m自由形 第4位 (2:24.33)
女子100m自由形 第5位 (1:05.64)
- 黒瀬 蒼空(1年)
男子400m個人メドレー 第6位 (5:03.19)
- 串馬 葵(1年)
女子400m個人メドレー 第5位 (5:55.08)
- 女子100mバタフライ 第6位 (1:14.03)
- 森脇 聡太(1年)
男子200mバタフライ 第4位 (2:19.35)
男子100mバタフライ 第6位 (1:01.45)
- ・第11回中国高等学校新人水泳競技選手権大会(山口きらら博記念公園水泳プール)
4名出場 中嶋 紀奈・黒瀬 蒼空
串馬 葵・森脇 聡太

文化部

吹奏楽部

- ・第64回岡山県吹奏楽コンクール 高等学校小編成の部 銅賞

書道部

- ・第39回成田山全国読書大会
佳作 徳永 絢香(3年)
宮本 実奈(3年)
- ・第46回ふれあい書道展
特選 乾 陽葉(2年)
奨励賞 寺岡万美子(2年)
田中愛香音(3年)
山本 真唯(3年)
- 敢闘賞 坂本 桃香(3年)
- ・第24回高校生国際美術展
佳作 宮本 実奈(3年)
- ・書道パフォーマンス
(於 イオンモール津山 1月9日 実施)

英会話同好会

- ・第26回真庭地区中学校・高等学校英語スピーチコンテスト 高校生スピーチの部
瀬島真愛子(1年) 第2位
岩野 明里(1年) 第3位

女子バスケ部

皆さんこんにちは！女子バスケ部です。

私たち女子バスケ部は、2年生3人、1年生5人、マネージャー1人という少数精鋭のメンバーで活動しています。

女子バスケットボール部では昨年「県大会出場！」を目標に毎日練習を頑張っています。人数は少ないですが、私たちは一人ひとりの個性を大切に、それを活かしてチームプレイを築くことを重視しています。合言葉は「考えるバスケ」。各選手の得意なこと、苦手なことを意識し、それぞれの長を生かした練習を行っています。

昨年から顧問の先生が岡本先生に変わり、先生と生徒で協力して自分たちのバスケットボールを少しずつ創り上げています。昨年、勝山高校で副校長を務めていた先生がバスケットボールの専門家であることがわかり、バスケットボールとは何か、基礎から教えていただきました。当初は試合に出られるかギリギリの人数でしたが、毎日熱心に指導して下さった先生方や私たち後輩を引っ張ってくれた先輩、マネージャーのサポートによって、今も大好きなバスケットボールを楽しんでいます。

先輩たちと「県大会出場」という

目標を掲げ練習し、最後の試合では全力を尽くしましたが、その目標を達成することはできませんでした。そこで、新しいチームでも同じ目標を掲げ、岡本先生の「キツくてしんどい練習も笑顔で！」というメッセージを胸に、勝利は容易ではないと認識しつつ、一人ひとりが全力でチームのためにできることを考え、練習に励んでいます。

時には楽しく、時には真剣に1・2年生みんなで話し合い、考えを共有しながら練習しています。私たちのモットーは「堅守速攻」。運動神経が高い人はいませんが、得意を活かし、苦手を補いながら、泥臭いディフェンスと速攻でどこにも負けないチームを目指しています。そして、バスケットボールを毎日できることに感謝し、これからも頑張りたいと思います。



会 計 報 告

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減 (△)	摘 要
繰 越 金	2,344,854	2,344,854	0	令和3年度からの繰越金
生 徒 入 会 金	0	△ 15,000	△ 15,000	返金3名
雑 収 入	146	4,523	4,377	預金利息、名簿代
合 計	2,345,000	2,334,377	△ 10,623	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
広 告 費	50,000	0	50,000	0	50,000	
旅 費	180,000	2,000	182,000	181,165	835	支部役員会等出席旅費等
会 議 費	100,000	0	100,000	34,000	66,000	支部会議参加費
慶 弔 費	40,000	0	40,000	5,000	35,000	退任者記念品
通 信 費	30,000	0	30,000	6,500	23,500	郵送料
助 成 費	250,000	0	250,000	190,000	60,000	各支部助成金、R5本部総会助成金
需 用 費	100,000	0	100,000	95,184	4,816	消耗品購入費等
予 備 費	1,595,000	△ 2,000	1,593,000	0	1,593,000	
合 計	2,345,000	0	2,345,000	511,849	1,833,151	

収入済額2,334,377円－支出済額511,849円＝残額1,822,528円（令和5年度へ繰越）

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減 (△)	摘 要
繰 越 金	494,519	494,519	0	令和3年度からの繰越金
賛 助 金	2,068,000	1,870,000	△198,000	690件
雑 収 入	481	0	△481	
合 計	2,563,000	2,364,519	△198,481	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	流用額	予算現額	支出済額	残 額	摘 要
賛助金振込手数料	104,000	15,000	119,000	118,272	728	690件
会報発行費	1,800,000	0	1,800,000	1,797,184	2,816	
口座振込手数料	1,000	0	1,000	0	1,000	
拠 出 金	0	0	0	0	0	
予 備 費	658,000	△15,000	643,000	0	643,000	
合 計	2,563,000	0	2,563,000	1,915,456	647,544	

収入済額2,364,519円－支出済額1,915,456円＝残額449,063円（令和5年度へ繰越）

さあ! QRコードから
アクセスしてみよう♪



勝山高校HP



Instagram



YouTube

進学実績

《令和5年3月合格者状況》※()は既卒で内数

大学名	合計	大学名	合計	大学名	合計	大学名	合計
北海道教育大	1	同志社大	1	岡山理大	5	岡山労災看護専門	1
鳥取大	1	京都産業大	3(1)	くらしき作陽大	1	津山中央看護専門	3
島根大	2	京都橘大	3	就実大	5	玉野総合医療専門	1
岡山大	5	京都外大	4(3)	清心女子大	3	岡山高等歯科衛生専門学院	1
山口大	1	佛教大	4	美作大	12	日本歯科学院専門	1
徳島大	2	龍谷大	3	岡山医療専門職大	1	倉敷リハビリテーション学院	1
愛媛大	2	関西大	1	吉備国際大	3	藤川学園公務員ビジネス専門	1
合計	14	近畿大	6	福山大	1	専門学校ピーマックス	3
公立鳥取環境大	2	大阪医薬大	1	安田女子大	1	岡山情報ビジネス学院	5
島根県立大	1	摂南大	1	広島工大	2	大原簿記専門	1
岡山県立大	1	阪南大	1	広島文教大	2	岡山ビジネスカレッジ専門	2
新見公立大	1	桃山学院大	2	松山大	1	大阪情報コンピュータ専門	1
福山市立大	1	大阪経大	5(3)	九州産業大	1	大阪ビジネスカレッジ専門	1
県立広島大	1	大阪芸大	1	福岡国際医療福祉大	1	京都コンピュータ学院	2
叡啓大	1	大阪商大	1	合計	105	神戸電子専門	1
周南公立大	1	関西福祉科学大	2	京都経済短大	1	総合学園ヒューマンアカデミー	1
高知県立大	2	関西外大	1(1)	園田学園女子短大	1	京都デザイン&テクノロジー専門	1
北九州市立大	1	神戸薬大	1	中国短大	1	総合学園ヒューマンアカデミー	1
合計	12	神戸常盤大	1	美作大短大部	2	中国デザイン専門	1
和洋女子大	1	神戸国際大	1	合計	5	関西美容専門	1
日本大	2	神戸学院大	4	岡山済生会看護専門	2	神戸ベルエール美容専門	1
東海大	3	武庫川女子大	2	岡山医療センター附属看護専門	1	専門学校岡山ビューティモード	1
湘南工科大	6	奈良大	1	岡山赤十字看護専門	1	神戸動物植物環境専門	1
		鳥取看護大	2			中国職業能力開発大学校	1
		岡山商大	2			合計	38

就職実績

就職事業所	合計
岡山県警察	1
鳥取県警察本部	1
合計	2

就職事業所	合計
中国電力(株)	1
JA 晴れの国岡山	1
三栄源エフ・エフ・アイ(株)岡山工場	1
(株)旭ボリスライダー	1
ミック工業(株)岡山第二工場	2
(株)サカイ越センター 岡山北支店	1
(株)グロップ 桑野物流センター	1
(株)クラップス	1
(株)グリーンポートリー	1
(株)アーリーモーニング	1
合計	11



事務局だより

会報賛助金納入のお願い

このたび、同窓会報第55号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に会報賛助金2,000円(令和5年分)のご協力のお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。



PayPay、auPAY、LINE Payでもご利用いただけます

同窓会を開催しませんか？

「学年同窓会を開きたいな〜」「最近みんな会っていないな〜」「クラブOB会を開きたいな〜」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

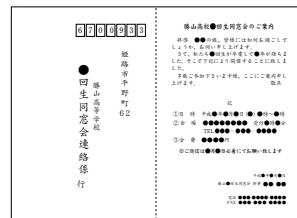
対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

内容 ①宛名タックシールの作成

②同窓会開催の案内ハガキ(右見本)の作成(往復ハガキ含む)

※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。
※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき
見本



往復はがき

編集後記

今年から例年の活動が戻ってきました。同窓会活動をはじめ、学校行事も久しぶりの通常開催となりました。が、今年度の同窓会総会幹事団が苦勞されたように、行事の準備方法の伝達が途切れてしまい、実行までに大変な苦勞がありました。学校では行事名に変更はないですが、中身は大きく変化しています。これも一つの流れであると思い、形を変えてではありますが継続(存続)することも大切かと感じた1年でした。